

開会式(8月21日 9:00-9:20) 講堂

総括セッション: リスク社会 発展・共識・危機(8月21日 9:30-12:00) 講堂

座長: 高田篤(法学研究科) / 通訳: 許衛東(経済学研究科)・木村自(人間科学研究科)

- 報告時間: @20分
- ディスカッション: @10分

思沁夫(グローバルコラボレーションセンター / 中国の環境問題: リスク, 保護, 共働)
三好恵真子(人間科学研究科) / 社会システムにおける安全・安心・信頼: リスク社会と中国の食を巡る構造的課題
梶谷懐(神戸大学経済学研究科) / 中国経済におけるリスクと不確実性をめぐって
ディスカッション / 中山竜一(法学研究科), 江沛(南開大学), 潘宗億(東華大学)

大学院・若手研究者のセッション: 21世紀の日中関係(8月21日 13:30-18:00)

- 次世代育成としての大学院・若手研究者のセッション「21世紀の日中関係」では、これまで6回の国際セミナーにおいて大学院生ら若い世代の交流の場としてのプラットフォームを提供してきた経験を活かして、錯綜する東アジアの現況をふまえながら、21世紀の日中関係を「考え」対話することの意味と意義をほりさげて検討する。(为了更好地培养新一代研究者, 基于此前已举办的6次国际会议的经验, 本届会议专门创建一个博士研究生等年轻研究者能够充分交流的平台, 并以“21世纪的中日关系”为子课题。希望大家通过该平台, 结合自身研究以及对东亚现状的认识, 针对21世纪的中日关系进行深入思考与对话。)
- 各自の研究課題を「現代中国與東亜新格局」(現代中国と東アジアの新環境)に関わる論点と位置づけ, 地域研究の学際性と歴史研究の総合性との対話を試みる。(在以往将各自的研究课题与大会主题“现代中国与东亚新格局”相关联的基础上, 本届会议希望以年轻研究者的交流平台为契机, 结合地域研究的跨学科性和历史研究的综合性进行尝试性对话。)
- 報告者(博士課程大学院生)は、それぞれの方法と課題に沿った研究報告を行う。同時にそれが「21世紀の日中関係」においてどのような意味と意義を有しうるのかについて所見を提示する。(報告者(博士研究生)可根据自己的研究题目及方向进行报告。同时, 关于自身的研究课题与认识21世纪的中日关系有何关联, 或者对于促进中日之间的相互理解有何意义, 须提出自己的见解。)
- 分科会での個別報告を受けて、「21世紀の日中関係」に関わる俯瞰的な討論(対話)を行う。(小组讨论时, 先进行各自的课题报告, 再在之前所提交的关于21世纪中日关系的“见解”的基础上, 展开共同讨论。)

コーディネーター: 田中仁(法学研究科) / 木村自(人間科学研究科) / 鄒燦(法学研究科 DC) / 潘鈺林(人間科学研究科 DC)

分科会(13:30-15:30)

- 報告時間: @15分
- コメント: 15分

歴史 / 历史 / 歴史 アセンブリー・ホール

座長: 鄒燦 / コメンテーター: 片山剛(文学研究科) / 通訳: 林礼釗(法学研究科 MC)

王東(南開大学・歴史学院博士生): 日清戦争前の中朝関係 - 1886-1889年プサン電報線をめぐる争議の事例 / 甲午戦前の中朝関係 - 以1886-1889年中朝关于釜山电报线之争为例
杜慧(南開大学・歴史学院博士生): 民国期山西省の農村新学教育の变革と調整 / 民国时期山西省乡村新学教育的变革与调适
王慧婷(東華大学・歴史学系碩士班): 全面対決 - 南京国民政府の「反革命罪」制定をめぐる論壇状況(1927-1931) / 針鋒相對: 輿論界對南京國民政府制定「反革命罪」的討論(1927-1931)

タイムテーブル（更新・確定版）

鄒燦(法学研究科): 盧溝橋事件から第一次近衛声明まで日本の対中戦争認識—政策と宣伝の間で/从卢沟桥事变到第一次近卫声明—日本政策、宣传与战争认识
和田英男(法学研究科): 現代中国政治における「公民」—反右派闘争とその名誉回復を中心に/現代中国政治史中的“公民”—以反右派斗争及其平反工作为中心

政治・社会/政治与社会/政治與社會 会議室

座長: 洪政儀/コメンテーター: 竹内俊隆(国際公共政策研究科)/通訳: 王子芸(経済学研究科 MC)
石羽(国際公共政策研究科): 中国の海洋戦略のパラドックスとその再検討—地政学理論の視点から/中国海洋戦略中の悖論及相关探討—从地缘政治的角度分析
林志晟(政治大学・歴史学系博士班): 緑金戦略—国民政府農林部による第一国営經濟營林場の設立と発展(1941-1945)/緑金戦略—農林部第一國營經濟林場の設置與發展(1941-1945)
洪政儀(国際公共政策研究科): 台湾沿岸警備隊の武力紛争法における地位/台灣海巡署在武力紛争法上的地位
Tan Tack-Ki(陳德奇, 人間科学研究科): 台湾におけるアイデンティティの変遷—外省人を中心に/台灣身份認同的變遷—以外省人為中心

文化・科学/文化与科学/文化與科學 セミナー室 1

座長: 潘鈺林/コメンテーター: 木村自(人間科学研究科)
張煜(言語文化研究科): 汪曾祺の小説の描写と中国伝統画について/汪曾祺小说中的描写与传统绘画
楊靈琳(言語文化研究科): 沈從文の選択/沈从文的选择
陳元棧(北京大学・考古文博学院): 中国水中文化遺産の保護状況—白鶴梁水文題刻の事例/中国水下文化遺産保護情形—以白鶴梁水文題刻為例
潘鈺林(人間科学研究科): 中国の大気汚染問題—新基準施行下での蘭州市の大気汚染レベルの再評価/中国の大気汚染問題—新標準背景下的蘭州市大気汚染水平的再评价
胡毓瑜(人間科学研究科): 揺らぎの心理学—脈波測定技術および中国におけるその実践と応用/波動的心理學—脈波測定技術以及該技術在中國實踐與應用的展望

認識・イメージ/認知与形象/認知與形象 セミナー室 2

座長: 周妍/コメンテーター: 堤一昭(文学研究科)/通訳: 金娜延(経済学研究科 MC)
菊地俊介(立命館大学・文学研究科): 日中戦争期における在華日本人の対中国認識/抗战时期在华日本人对中国的认识
黄貞瑜(東華大学・歴史研究所): 台湾、日本と中国の高校歴史教科書における抗日戦争記述について/台灣、日本與中國在高中歷史教科書中關於抗日戰爭的書寫
王坤(広島大学・総合科学研究科): 中国側から見る日中経済協力—1980年代における『人民日報』の対中 ODA 報道を中心に/《人民日報》報道中的日本形象—以 1980 年代对華 ODA 報道為中心
周妍(国際公共政策研究科): 現代中国知識人の日本認識—「対日新思考」をめぐる論争を通じて/当代中国知識分子の日本認識—“对日新思维”论争浅析
馬瑞潔(南開大学・歴史学院博士生): 『人民日報』の日本関連報道について(2003-2012)/《人民日報》涉日报道研究(2003-2012)

全体会(16:00-18:00) アセンブリー・ホール

- ディスカッションの「所見」に対するコメント(@10分)
- コメントに基づきグループ別で討論を行う(15分)。
- 各グループの代表が討論の内容を報告する(@5分)。
- 全体討論(50分)

座長: 許衛東(経済学研究科)
ディスカッション: 西村成雄(放送大学)/江沛(南開大学)/陳進金(東華大学)

レセプション(18:30-20:30) らぶおれ

自由論題によるセッション(8月22日 9:00-16:45)

- 報告時間:@20分
- 座長はコメンテーターを兼ねる(15分)。
- 日本語による報告には中国語の発言稿を作成する。
- 各セッションに通訳を配置して討論を援助する。

セッション A-1 (9:00-11:30) セミナー室 1

座長:林初梅(言語文化研究科)／通訳:張煜, 楊靈琳

島田美和(慶応義塾大学総合政策学部):南京国民政府期における国民党政権の边疆政策—晋綏系地方軍事勢力者の対蒙政策を中心に／南京国民政府时期国民党政権の边疆政策—以晋綏地方军事势力的蒙古政策为中心

江沛(南開大学歴史学院):戦争動員と社会的危機のパラドックス—山西・黎城暴動の事例／战争动员与社会危机之吊诡—以山西省黎城暴动事件为个案

木村自(人間科学研究科):宗教教育制度からみた回族のコミュニティとネットワーク—巍山回族の経堂教育を事例として／由宗教教育制度上来看的云南回族社区与网络—以巍山回族经堂教育为例

川口幸大(東北大学文学研究科):僑郷とは何か?／侨乡是什么?

セッション A-2 (9:00-11:00) セミナー室 2

座長:山田康博(国際公共政策研究科)／通訳:洪政儀, 石羽

高橋慶吉(法学研究科):米国外交における中国大国化構想の挫折—1948年対外援助法を中心に／美国外交中的中国大国化构想的挫折—以1948年对外援助法为中心

五島文雄(静岡県立大学国際関係学部):南シナ海問題とベトナムの対外政策／南海问题和越南的对外政策

竹内俊隆(国際公共政策研究科):東アジアの安全保障環境の現状と将来／东亚安全保障环境的现状和将来

セッション B-1 (12:30-14:30) セミナー室 1

座長:田口宏二郎(文学研究科)／通訳:周妍, 島田美和

丸田孝志(広島大学総合科学研究科):満州国『時憲書』と通書—伝統・民俗・象徴の再編と変容／満洲国《时宪书》与通书—传统・民俗・象徴的の整编与变化

若松大祐(日本学術振興会):蒋介石『中国のなかのソ連』(1957)の歴史観／蔣介石《蘇俄在中國》(1957)的歷史觀

潘宗億(東華大学歴史学系):The Making of Tiananmen Square as a Realm of Contested Memories in Twentieth-Century China

セッション B-2 (12:30-14:30) セミナー室 2

座長:坂口一成(法学研究科)／通訳:潘鈺林, 和田英男

張志国(雲南師範大学歴史與行政学院):1930-1940年代の連雲市の都市計画／1930-1940年代连云市的都市计划

謝曉鵬(鄭州大学歴史学院):河南抗日根拠地の社会改造／河南抗日根据地的社会改造

渡辺直土(近畿大学):中国国家發展改革委員会の機能分析／关于中国国家发展改革委员会的职能

セッション C-1 (14:45-16:45) セミナー室 1

座長:宮原暁(グローバルコラボレーションセンター)／通訳:胡毓瑜, Tan Tack-Ki

福田州平(グローバルコラボレーションセンター):1876年フィラデルフィア万博における米中日関係の研究に向けて／1876年费城世博会中的美中日关系研究

蔣竹山(東華大学歴史学系):演劇、都市と大衆文化—近現代中国の演劇研究の「文化論的転回」／戲曲、城市與大眾文化—近現代中國的戲曲研究的「文化轉向」

タイムテーブル（更新・確定版）

青野繁治(言語文化研究科):中国におけるロックマガジンをリードする雑誌『我愛搖滾樂』—創刊号を読む／中国搖滾刊物的代表《我爱摇滚乐》—读创刊号

セッション C-2 (14:45-16:45) セミナー室 2

座長:丸田孝志(広島大学総合科学研究科)／通訳:鄒燦, 菊地俊介

陳進金(東華大学歴史学系):富強の道を探る—近代中国教育發展の考察／尋找富強的途徑—近代中國教育發展の觀察

張同樂(河北師範大学歴史文化学院):1930年代なかばの冀東密貿易と日中關係について／试论 1930年代中期冀东走私对中日关系的影响

渠桂萍(太原理工大学政法学院):農村遊民と抗日戰爭／乡村游民与抗日战争

閉会式 (8月22日 17:00-17:45) 講堂

フェアウェル・パーティ (18:00-20:00) 宙(そら)